

女性特有の健康課題 e-ラーニング

中期経営計画におけるマテリアリティに「多様な人材が安心して活躍できる職場環境の構築」を掲げ、女性従業員比率や女性管理職比率など、女性活躍に関するKPIを設定する当社では、性別問わず「女性特有の健康課題」の理解促進のため、全社員を対象に e-ラーニングを実施しました。

【実施期間】

2024 年 10 月 1 日～10 月 1 日

【実施概要】

性別問わず知ること、もっと働きやすい職場に！「女性特有の健康課題」 e-ラーニング

STEP 1：女性の健康課題を知ろう！

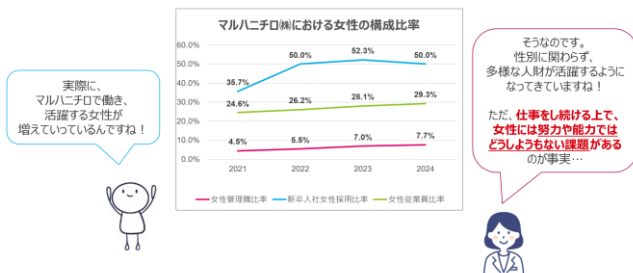
STEP 2：女性自身ができる対処法を知ろう！

STEP 3：性別問わず周りの人ができる対処法を知ろう！

受講者数：2,370 名（84.5%）

理解度テスト平均点：96.2 点（100 点満点）

なぜ「女性特有の健康課題」なのか？



周囲の人ができる対処法

もし、あなたの周りに気分が優れなかったり、体調が悪そうな人がいたら、どうしますか？
ここでは周囲の人ができる対処法と心構えをお伝えします！

▶ 思い込まない。

同じ女性であっても不調の種類や程度は一人ひとり違います。
「月経時、私は大丈夫だから、みんなも大丈夫だろう」「自分の家族はそんなにツラそうじゃないから平気だろう」はNGです。
イライラしている女性がいれば、「腹痛が強いのかな？」⇒「体調が悪いのかな？」に悪考を浮かべてみて下さい！

▶ 対話しよう！

女性特有の健康課題は話にくい話題ですが、「体調悪そうだけど、大丈夫？」「何かできることはありますか？」などの声掛けをしてみましょう！「フカサル（Ion1）」の場で話題にしたり、日頃からコミュニケーションを取り、いざという時もスムーズにコミュニケーションが取れる関係性構築を！

▶ 環境面の配慮も忘れずに！

長時間の会議の際は、1時間に1度休憩を入れる（月経中の女性がいるかも...）
立ちっぱなし・高温・冷房等の体に負担のかかる業務の際は適宜休憩を入れる
体調に応じて在宅勤務を推奨する、などの配慮を！

多様な人がいること、その背景を想像することが大切です！

Copyright ©2024 Maruha Nichiro Corporation

内容一部抜粋